

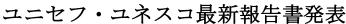


公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織 佐賀県ユニセフ協会通信(No. 89) uniwish16号(2015年2月) 佐賀県佐賀市水ヶ江四丁目2番2号

(電話・FAX) 0952-28-2077 (業務時間) 月・火・木・金 10:00~15:00 unicef-saga@ams.odn.ne.jp E-mail

ホームページ http://www.saga-unicef.jp/ FBページ

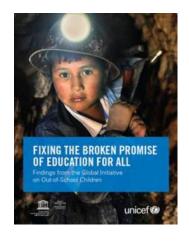
http://www.facebook.com/unicef.saga



【2015年1月19日 ロンドン発】

12歳~15歳の青年期の子どもの5人にひとりが、 小学校学齢児の11人にひとりが学校に通えず

1月19日、ユニセフ(国連児童基金)とユネスコ統計研究所は、世界教育 フォーラムにおいて最新の共同報告書「"学校に通えない子どもたちに関す る世界イニシアティブ"調査結果~反故にされた約束、『万人のための教育 を』を再び(英語表記:Fixing the Broken Promise of Education for All: Findings from the Global Initiative on Out-of-School Children) 」を発 表し、12歳~15歳の青年期の子ども約6,300万人が、教育を受ける権利を認め られていないことを明らかにしました。



11人に1人が小学校に通えない

世界で初等教育学齢期の子ども11人にひとりが学校に通えない一方、青年期の子どもの場合は5人にひ とりが通えず、未就学の割合は初等教育学齢期の子どもの倍にのぼります。報告書は、子どもの年齢が 高くなるほど、学校に入学しにくくなったり、中退率が高くなったりするというリスクについても示し ています。

紛争下など、困難な環境下の子どもに焦点を

国際社会は2015年までの目標として、万人のための教育を掲げ ました。しかし、計1億2,100万人の子どもや若者が、一度も学 校に入学したことがないか、中退している状況であり、データ は2007年以降、ほとんど改善が見られていないことを示してい ます。武力紛争や児童労働、民族性やジェンダー、障がいを理 由とする差別が最も影響を及ぼしています。政策とリソースに 大きな変化がもたらされない限り、これまで拡大した教育への アクセスが損なわれる懸念が増しています。



学校で授業を受ける女の子。 © UNICEF/INDA2014-00385/Altaf Qadri

イリナ・ボコヴァ ユネスコ事務局長は、「最も不利な立場に置かれている子どもたちが学校に通える ようにするためには、より多くの教員、教室、教科書をという、通常の戦略による支援では不十分で す。教育の機会を奪われている、武力紛争で住む場所を失った家族、家庭に押し込められている状況 下の女の子、障がいのある子ども、労働に駆り出されている何百万もの子どもたちへの支援に焦点を あてることが不可欠です。本報告書は、すべての子どもに基礎教育を保証するための資源を動員する よう、警笛を鳴らしています」と述べました。

中等教育に対する課題

ポスト2015年開発アジェンダに世界の中等教育に対する課題を含めるという動きが高まる中、本報 告書には、子どもたちを学校から遠ざける障壁を打ち破る方策が盛り込まれています。現在の傾向 が続けば、生涯一度も学校に通うことのできない子どもの数が2,500万人(女の子1,500万人、男の 子1,000万人)にのぼる可能性を指摘しています。



先生の質問に答える子どもたち。(ナイジェリア) © UNICEF/NYHQ2013-0473/Esiebo

3分野への取り組み

アンソニー・レーク ユニセフ事務局長は、「万人のための教育を実現するためには、地球規模で3つの分野への投資が必要です」と述べました。

「一つ目は、より多くの子どもを初等教育へ。二つ目は、より多くの子どもたち、とくに女の子を中等教育レベルまで学校を中退させないこと。三つ目は、就学中、一貫して教育の質が向上されることです。これら優先課題に関して議論の余地はなく、我々はこの3分野すべてを達成する必要があります。なぜなら、教育に対する支援がもたらす効果、つまりすべての子どもの成功は、この3点にかかっているからです」と続けました。

子どもの半数以上が小学校に通えない国

学校に通えない子どもの割合が最も高い国はエリトリアとリベリアで、それぞれエリトリアで66%、リベリアで59%の子どもが初等教育を受けられていません。多くの国で、特に年齢の高い女の子が最も学校に通えていない傾向にあります。パキスタンでは、12歳~15歳の青年期の女の子の58%が通学していない一方、男の子は49%です。

貧困が最も大きい障壁に

貧困が教育に対する最も大きい障壁となっています。ナイジェリアでは、貧しい家庭の子どもの3分の2が学校に通っておらず、そのうち90%近くは、一度も就学することがないとみられています。これとは対照的に、裕福な家庭の子どもの5%は学校に通っていませんが、将来このうちのほとんどの子どもが学校に通うようになることが予測されています。

子どもたちを政策の中心に

ユニセフとユネスコは、教育へのアクセスや教育の質を向上するという大規模な努力の一環として、最も置き去りにされている子どもたちを政策の中心に置くことを求めています。そのためには、各国政府は、だれが学校に通えていないのか、どこに住んでいるのか、一度も学校に出席したことがないのか、あるいは将来にわたってその傾向が続くかなどの情報を、しっかりと把握することが不可欠です。しかしながら、現在のデータ収集方法では、学校に通えていない子どもたちの多くは、存在しないかのように、その状況が明らかにされません。これらの子どもたちの中で、障がいのある子どもの状況は最も見えにくく、信頼できるデータが存在しません。国による未就学児支援対策において、見落とされているのです。



授業を受ける14歳の女の子たち。 (バングラデシュ) © UNICEF/BANA2014-01312/Paul

ユニセフとユネスコは、報告書を通して、最も置き去りにされている子どもたちに教育の機会を届けるための初期投資は大きな利益をもたらすとして、よりよいデータ収集に投資するよう、行動を求めています。よりよい統計と革新的なツールは、政府やドナーの、一層効果的・効率的な教育への資金分配を可能とします。

■参考情報

本報告書は、ユニセフとユネスコ統計研究所が50カ国以上でパートナーシップを結んでいる「学校に通えない子どもたちに関する世界イニシアティブ(英語表記:Global Initiative on Out of School Children)」の一環として発表されました。報告書では、どのような子どもたちが学校に通えないのか、なぜ通えないのか、子どもたちが学校に通えるようにするにはどのような戦略が必要かを明らかにし、子どもたちが学べるようにするための革新的な政策の開発を行っています。

~教育の権利をすべての子どもたちに~「インド女子教育」指定募金

佐賀県ユニセフ協会では、2014年度に引き続き「インド女子教育」指定募金に取り組んでいます。インドのアッサム州、チャッティースガル州、西ベンガル州などでは、男の子と女の子の間に教育の格差があります。また、カースト制度の名残もあり、児童労働や児童婚も問題になっています。ユニセフは、全ての子どもたちの教育の権利を守るため女の子も勉強できるようインド政府と協力してプロジェクトを進めています。皆様のご協力をよろしくお願いします。

CAPワークショップ 陸前高田で開催 ~ 子どもをあらゆる暴力から守るために~

子どもをあらゆる暴力から守るための人権教育を行っているCAP (Child Assault Prevention)。今回は、陸前高田市で保育士の方々と子ども支援団体の方々向けにCAPワークショップが開催されました。CAPはアメリカで開発された子どもへの暴力防止教育プログラムです。子ども自身があらゆる暴力から自分の心と体を守るための知恵がたくさん盛り込まれています。幼保育園、小中学校での子ども、教職員、保護者向けや地域のおとな向けなどのプログラムがあり、陸前高田市内では震災後3度目の開催になりました。



© 日本ユニセフ協会

「子どもを暴力から守るためにできること」市内の保育士さんたちに知ってもらう

岩手県陸前高田市にある社会福祉法人陸前高田市保育協会は、11日、協会に加盟する保育園の保育士向けの研修として、陸前高田市役所会議室を会場に『子どもを暴力から守るためにできること』と題したCAPワークショップを開催しました。

市内5カ所の保育園から、第一線で活躍する保育士さん11名が参加しました。講師は、日本ユニセフ協会と業務連携する一般社団法人J-CAPTA(ジェイ・キャプタ)チーフディレクターの木村里美さんと山田町などを拠点とするCAPリアスのメンバー計3名。

震災後、山田町では、町内の保育園でCAPワークショップが積極的に取り入れられ、小学校入学前に半数以上の子どもたちがCAPワークショップを受講して、自分のこころと身体を大切にすることを学んでいます。山田町で行われている子ども向けプログラムの紹介やロールプレイを体験しながら、子どもの人権尊重、誘拐やいじめなどから子どもたちを守る具体的な方法など、保育士として子どもたちを守るためにできることは何かを再確認しました。

参加した保育士さんたちからは、「安心、自由、自信の言葉がすごく大切だと思いました」、「子どもの話を聴いたら、まず気持ちを受け止めてあげることの大切さを改めて実感しました」、「今日の研修を参考に、子どもの心に寄り添った言葉がけをしていきたいです」などの感想が寄せられました。

市内の子ども支援団体の方々にも知ってもらう

翌日12日は、陸前高田市で毎月開催されている「陸前高田市子ども支援ネットワーク会議」を主催するNPO法人P@CTさんの主催により、ネットワーク会議に参加している子ども支援団体などを対象にしたCAPワークショップがおこなわれました。

陸前高田市のみならず気仙地区の子ども・子育て支援関係団体や、子ども・子育て支援に関心のある市民の方々にも聞いてもらおうと、陸前高田市社会福祉課、児童家庭支援センター大洋も共催してくださいました。当日は、子ども支援ネットワーク会議参加者をはじめ、気仙地区で子ども支援に関わる担当者など19名が参加しました。

ワークショップでは、幼保育園、小学校、中学校などでおこなわれる子ども向けワークショプの紹介 とともに、実際に子ども支援に携わっている方々向けに、より実践的な子どもとの関わり方について も紹介されました。

講師の一般社団法人J-CAPTA(ジェイ・キャプタ)チーフディレクターの木村里美さんからは、「子どもに防犯道具を持たせるのではなく、子ども自身の心の中に、自分を守るための道具をつくること、そのためには人権意識を高めるような子どもたちへの働きかけが大切」と伝えられました。また、「虐待が世代間連鎖するというが、実際は3割のみで、ほとんどは繰り返されていない。虐待を受け、虐待を繰り返していないおとなはたくさんいる。虐待を繰り返す人と繰り返さない人との違いは、信頼できるおとなにどれだけ早く出会い、話せたかどうか。早ければ早いほど回復力は早い」信頼できる大人が子どもの周りに増えることの重要性について語られました。

専門家につなげる前に、周囲のおとなが子どもをケアすることができるということ、子ども自身が回復力を持っていること、子どもの内なる力を引き出して、自分で選択できるようになることを支援するのが外からの働きかけ、「~してはダメ」などの禁止や「~しなさい」などの断定的なメッセージではなく、「~してもいいよ」メッセージの重要性などの話が参考になったという参加者からのコメント。「自分も伝える側になっていきたい」、「日頃の活動で生かして行きたい」、「自分の子どもにも伝えて行きたい」などの積極的な意見も出されました。



かつどうほうこく



○12月5日(金) 募金贈呈 (有)渡辺花屋

(事務所)

○12月11日(火) イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン参加

(イオン佐賀大和店)

○12月15日(金) 募金贈呈 弘堂国際学園

(事務所)



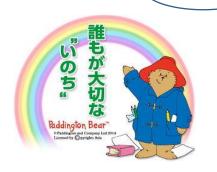
(有)渡辺花屋さん



弘堂国際学園の皆さん

 $\bigcirc \circ \circ \cancel{\chi}$

活動詳細



第36回 ユニセフ ハンド・イン・ハンド

11月と12月の2ヶ月間にわたって実施した『第36回ユニセフ・ハンド・イン・ハンド募金キャンペーン』では、個人・学校・団体・企業等々、多くの皆様方からたくさんのご支援をいただき、総勢219名のボランティアさんが参加してくださいました。

募金総額は、3,102,014円にもなりました。

ご多用のなか駆けつけてくださったボランティアの皆様、募金箱に温かいお気持ちをお寄せいただいた多くの皆様、快く会場をご提供くださった企業の皆様、まことにありがとうございました。

12月7日(日) 佐賀市 ゆめタウン佐賀店 コープさが新栄店

上峰町 イオン上峰ショッピングセンター

12月14日(日) 佐賀市 佐賀玉屋前 イオンモール佐賀大和店

ホームワイド佐賀大和店 イオンスーパーセンター佐賀店

小城市 バニーズ三日月店

12月20日(土) 佐賀市 富士町ぬくもりの会

12月23日(火) 鹿島市 スーパーモリナガ鹿島店 Aコープララベル鹿島店

12月24日(水) 佐賀市 浄土真宗本願寺派佐賀教区少年連盟ウインタースクール

【会場風景】

☆ゆめタウン佐賀店(佐賀商業高校他)







☆コープさが新栄店(佐賀清和高校他)

☆イオン上峰ショッピングセンター (上峰小学校他)







☆佐賀玉屋前(循誘ボランティア他)

☆イオンスーパーセンター佐賀店(矢ヶ部小学校、三橋中学校他)









☆イオンモール佐賀大和、ホームワイド佐賀大和 (ボーイスカウト佐賀第五団・城北中学校他)

☆バニーズ三日月店 (三日月中学校他)





☆富士町ぬくもりの会

☆スーパーモリナガ鹿島店・Aコープララベル店 (ボーイスカウト鹿島第一団他)







☆スーパーモリナガ本庄店 佐賀駅前西友 佐賀玉屋前

(ボランティア浄土真宗本願寺派佐賀教区少年連盟)







ご支援 ありがとうございます

トヨタ紡織九州(株)レッドトルネード様 太陽塗装様 ファミリーマート大和尼寺店様 ㈱モトシマ様 グランデはがくれ様 モンテカルロ医大通り店様 モンテカルロ太陽本庄店様 佐賀リハビリテーション病院様 矢山クリニック様 栗原内科消化器科医院様 みねまつ歯科様 いちはら耳鼻咽喉科クリニック様 恵比寿鍼灸整骨院様 ふくしま薬局通小路店様 内田整体院様 多布施クリニック様 佐賀ギター音楽院様 ドゥース様 サンシャレー様 三瀬そば様 いっせい麺処様 西国御領風羅坊様 ㈱北島様 合資会社東洋館様 えんぴつ館様 村岡屋卸本店様 村岡屋駅南店様 佐賀空港ターミナル様 レストランカンフォーラ様 ホンダパーツ西南佐賀営業所様 山小屋ラーメン南佐賀店様 山小屋ラーメン川副店様 アルタ開成店様 アルタ高木瀬店様 れすとらん志乃県庁店様 手打ちうどんそば夢心様 ミックコスメティックプラザ城北店様 ホテルニューオータニ佐賀様 ガイルスライブハウス様 菖蒲ご膳様 New・モア様 H&M Fido EXCEL様 H&M EXCEL W.E.N.S様 Hair H&M EXCEL本庄店様 最所法律事務所様 日本バプテスト連盟佐賀キリスト教会様 佐賀市役所川副支所民生児童委員会様 浄土真宗本願寺派佐賀教区少年連盟様 (有)渡辺花屋様 弘堂国際学園様 花みずき通り様 富士町ぬくもりの会様 佐賀シール工業様 柳川市大和公民館なんでんお助け隊様 母子草様 楽庵様 ホテルマリターレ創世様 ぎょうざ屋様 佐賀市文化会館様 TSUTAYA鍋島店様 バレエ&ビヨンド様 ようどう館佐賀校様 ようどう館大和校様 DANCE STUDIO STATUS佐賀校様 旅館あけぼの様 団野法律事務所様 川崎自工様

ゆめタウン佐賀店様 コープさが新栄店様 イオン上峰ショッピングセンター様 佐賀玉屋様 イオンモール佐賀大和店様 ホームワイド佐賀大和店様 イオンスーパーセンター佐賀店様 バニーズ三日月店様 スーパーモリナガ鹿島店様 Aコープララベル鹿島店様 上峰小学校様 矢ケ部小学校様 循誘小学校様 城北中学校様 三日月中学校様 三橋中学校様 佐賀清和高等学校様 佐賀商業高等学校様 ボーイスカウト佐賀第一団様 ボーイスカウト鹿島 第一団様

緑のテラス清水様 富安造園様 内堀忠次商店様 佐賀友の会様 第一生命保険㈱佐賀支社様 佐星醤油㈱様 佐賀共栄銀行様 循誘公民館様 ヘルスランチあららぎ様

(2014年11月13日~2015年1月24日)

☆ いろいろな形でのご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。 個人の皆さま方からもたくさんのご支援ご協力をいただいておりますが、 この欄でのご紹介は学校・企業・団体様等のみにさせていただきます。



賛助会員募集中! 日本ユニセフ協会賛助会員としてご協力ください

☆公益財団法人日本ユニセフ協会の賛助会費は、ユニセフ募金や寄付金と同様、寄付金控除の対象になります

日本ユニセフ協会賛助会員とは

日本国内での募金活動、広報およびアドボカシー(政策提言)活動を担う日本ユニセフ協会を、賛助会費によって支援していただく協力方法です。 賛助会員になってニュースレターや資料を入手して理解を深め、世界の子どもの状況やユニセフと日本ユニセフ協会の活動を知り、できる範囲で行動する機会にしていただくことができます。

賛助会員の種類と期間

- 1. 一般賛助会員 1口 5,000円…個人の方が対象
- 2. 学生賛助会員 1口 2,000円…学生の方が対象
- 3. 団体賛助会員 1口100,000円…企業、団体、有志のグループなどが対象 期間は、1年ごとの更新。
- ☆詳細については、佐賀県ユニセフ協会までお問合わせください。



ユニセフって 容弱に?



ユニセフとは

ユニセフは世界中の子どもたちの命と健康を守るために活動する国連機関です。 18歳になるまではみんな子ども。世界のどこに生まれても、すべての子どもがその権利を守られ、 持って生まれた可能性を十分に伸ばしながら成長できるように… ユニセフは「子ども最優先」 を掲げて、支援活動を続けています。

厳しい子どもたちの状況

世界を見渡すと子どもたちを取り巻く環境は過酷です。 たとえば、年間630万人の子どもが5歳の誕生日も迎えられずに命を失っています。約5,700万人の子どもたちは小学校にも通えません。 そのほかにも、HIV/エイズで親を失ったり、戦争に巻き込まれて子どもの兵士にさせられていたり、厳しい状況のなかで支援を必要としている子どもたちがたくさんいます。



©UNICEF NYHQ2002-0282 Pirozzi

ユニセフの活動

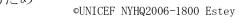
ユニセフは世界の子どもたちが生存し健やかに成長できるよう、中期事業計画にもとづいて、 次の5つの特に重要な分野において、他の政府機関や各国政府、NGOなどのパートナーと協力し ながら活動を行っています。

1. 十分なケアを乳幼児に

予防できる病気で命を失わないように予防接種や保健の仕組みを整えたり、栄養不良の対策を行ったりしています。

2. すべての子どもに教育を

学校を作ったり教材を届けたりするだけでなく、先生を育てたり、 教育の大切さを広めたり、子どもを学校に通えるようにするため の環境づくりをしています。



3. HIV/エイズとたたかう

エイズによって親を失った子どもを保護したり、若者のHIV感染や赤ちゃんの母子感染を予防したり、感染した子どもの治療を支援したりしています。

4. 子どもの保護

搾取や暴力、虐待、児童労働の犠牲になっている子どもたちを保 護し、教育や心のケアの機会が届けられるようにしています。



©UNICEF NYHQ2006-2862 Pudlowski

5. 子どもにふさわしい世界を目指して

各国政府をはじめ子どもに関わるすべての人びとが「子ども最優先」の考えに基づいて行政や予算配分をできるように協力関係をつくっています。

※ 緊急支援

自然災害時でも武力紛争時でも、いつでも現地に急行し緊急支援活動を行っています。 ユニセフは、第二次世界大戦で被災した国々の子どもたちの支援のために、緊急活動を行う目的で 設立されました。世界を取り巻く環境は刻々と変化していますが、ユニセフの基本的な使命に変わ りはありません。



佐賀ギター音楽院院長

関谷静司さん (66歳)

(佐賀市)



ユニセフとの出逢いは20年ほど前でしたでしょうか。 とある銀行に立ち寄った際、ロビーに貼ってあったポス ターが目に留まったのです。『この笑顔をたやさないた めに』と書かれた黒人の男の子の写真。そのそばに募金 箱が置かれていました。当時は木の募金箱だったのを覚 えています。

わたくしはギター教室を経営しておりますので、佐賀 県ユニセフ協会に電話をかけ「個人の教室などにも募金 箱を設置できますか」とお尋ねし、その頃からイベント やコンサート会場などで募金活動などの手伝いをしてい ます。

ある演奏会の後、お母さんが募金箱に寄付するのを不 思議そうに見ていて、あとになってから小銭を握りしめ て戻ってきて、恥ずかしそうに募金箱に入れてくれた小 さな子どもの姿が忘れられません。

私自身、途上国と呼ばれるところに支援ということで足を運んだことはありません。しかし、これも20年ほど前の事。妻と二人で中国・桂林に行きました。縁あって、観光地ではない山深い場所、少数民族の小さな、いかにも貧しそうな村に案内されたことがあります。

村長の話を聞くと、病院が遠いのかお金がないのか…彼の親御さんは病気で医者にかかれないでいるそう。そして彼自身も足を怪我していたのですが化膿したままになっていました。貧しい村なのでお茶も出せない、そこの井戸の水を飲んでくれと勧められたのを思い出します。〔外国の生水は恐いので、口に含むだけで、そっとはき出しましたが…村長さんごめんなさい。〕

外国との付き合いでいいますと、現在は日韓交流に力を注いでいます。そちらのきっかけは1985年(昭60)に若楠少年少女合唱団の日韓交流演奏会に同行させていただいたことです。私はギターで参加させてもらったのですが、その打ち上げでの時、子どもたちは言葉も通じないのに、皆お互いすぐに仲良しになり遊び始めたではありませんか。それが羨ましかった。それを見て、「よし!私はギターで交流しよう」と思い立ちましたね。

韓国仁川市を中心に活動するギターオーケストラに交流を申し込むことができたのはそれから13年後のことですが、翌年から両国で合同演奏会を開催することになりました。

改めて数えてみれば、あの時がきっかけでもう36回ほど韓国を行き来しています。そして今年6月20日にはソウルで第13回目の日韓交流演奏会が開催されます。

いまの子どもたちに求めるのは、こうしていい意味で諸外国との垣根をなくしてほしい。そのためにも感受性豊かな面をどんどん育ててほしい。

タブレット端末もいいですが、それだけでなく本を読み、 芸術に触れ、心をどんどん養ってほしいですね。

(取材・高原陽子)



「日韓交流演奏会〜ラ・エスペランサ 第28回定期演奏会」会場にて (2009年11月14日)